

授 業 目 名	疾患別理学療法VI（神経筋疾患）	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	沖田 任弘	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>臨床で遭遇する神経筋疾患について、それぞれの疾患の本態や特殊性、病型、病期、障害部位、進行及び予後を理解し、その評価、治療、リスク管理、合併症、ADL等を学ぶ。さらにQOL向上を目指した多面的なチームアプローチとその中での理学療法士の役割や関わり方を考える。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神経筋疾患の病態から障害像を説明することができる。 2. 障害に合わせた基本的な理学療法評価とプログラムを考えることができる。 3. 神経筋疾患の進行を予測し予後を考えることができる。 4. 神経筋疾患の障害に合わせた環境整備を提案することができる。 		
授業回数	授業内容		
第 1 回	神経難病の症候学と鑑別	}	テスト①
第 2 回	大脳基底核の構造と機能		
第 3 回	小脳の障害と機能		
第 4 回	パーキンソン病（大脳基底核病変）の病態と障害像について	}	テスト②
第 5 回	パーキンソン病の評価と理学療法について		
第 6 回	脊髄小脳変性症の病態と障害像について		
第 7 回	運動失調の評価と理学療法について		
第 8 回	筋萎縮性側索硬化症の病態と障害像について	}	テスト③
第 9 回	筋ジストロフィーの病態と理学療法について		
第 10 回	神経筋疾患の呼吸ケアについて	}	テスト④
第 11 回	呼吸ケアの実際		
第 12 回	その他筋疾患の病態と理学療法について		
第 13 回	その他神経難病について		
第 14 回	神経難病の環境整備について（演習）		
第 15 回	総括		
評価方法	単元ごとに行うテストにて評価する。		
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 理学療法テキスト「神経障害理学療法学Ⅱ」中山書店</p> <p>〔参考図書〕 「リハビリテーションのための神経内科学」第2版 医歯薬出版株式会社</p>		
履修上の 留意点	神経内科学で学んだ神経筋疾患の病理を復習しておくこと		
メッセージ	授業では積極的に参加してください。		